

学校だより



学校だより 1月号

令和4年1月7日

発行者 外日角小学校

TEL 283-0040

笑う門には福来る

校長 稲垣 一郎

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに春をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年もよい一年にしていきたいと思います。コロナは今だに収束せず、風邪やインフルエンザが流行る冬場は健康管理も難しいところです。その予防には、しっかり栄養をとることはもちろん、汗の始末をすること、睡眠時間をたっぷりとること、マスク、手洗い・うがいを欠かさずにとすること、そしてたくさん遊び、たくさん笑うことです。

子どもの笑顔は、何物にも代えがたい宝物です。保護者の皆様も、これまでの子育ての中で、何度も子どもの笑顔に幸せを感じたり励まされたり癒やされたり救われたりしてきたのではないのでしょうか。人間は、生まれながらに笑顔を見せます。これは、新生児微笑と言い、「笑顔を見せることで周りがさらに優しく接してくれる」という、赤ちゃんの本能的な自己防衛手段なのだそうです。赤ちゃんは新生児微笑によって周囲の反応を確認し、笑顔の意味を理解していきます。周囲が反応することで、赤ちゃんは、嬉しい・楽しい・面白いといった感情を発達させ、情緒も豊かになっていくそうです。



笑顔については医学的にも研究が進み、脳を活性化し、やる気や活力が生まれる／ストレスを緩和するはたらきがある／免疫システムのはたらきがある／痛みを軽減するはたらきがある／がん細胞やウィルスをやっつけるナチュラルキラー（NK）細胞を活発にする、等の効能が報告されています。

自分自身にとっても大切な笑顔ですが、なんと言っても笑顔はコミュニケーションに欠かせません。笑顔でいるときは、心が解放されています。この状態は、相手を受け入れる準備ができているということです。優しさや思いやり、相手を包み込む感情、そして、人のために時間を使うこと、人の役に立つことの根源は、笑顔にあると思います。学校に登校したとき、笑顔で「おはようございます。」と挨拶をしてくれると、とても嬉しく元気になります。今日も一日楽しく勉強したり生活したりしてほしいと、願わずにはいられません。それでも、子どもの喜怒哀楽は多様に変化します。ちょっとしたことで、怒ったり悲しんだり泣いたりするものです。友だちとケンカをすることもあるでしょう。大人から叱られて落ち込んでしまうこともあるでしょう。そんなときも、セルフ・エスティーム（健全な自尊心）とレジリエンス（折れない心）を働かせて、笑顔を取り戻してほしいものです。自力で笑顔に戻れないときは、友だちの力や大人の力も必要です。周囲の笑顔がその子の笑顔につながります。大事なことは、「楽しいから笑顔になる」のではなく、「笑顔でいるから楽しくなる」ということだと思います。『笑う門には福来る』という言葉も、「笑顔でいるから楽しくなる」ということを表しています。「門」とは家や家族の意味ですが、ここでは、外日角小も含めることにしましょう。家でも学校でも、いつもにこやかに笑って過ごせば、自然と幸せに包まれます。そんな一年にしていきたいものです。

教職員一同、いつでも『笑顔』で、「信じる」「任せる」「認める」を合言葉に、精一杯努力をしていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

制服・体操服が必要な方へ

すでに使わなくなったお子さんのご家庭から譲っていただいた「制服・体操服」のストックが学校にあります。サイズや状態にはばらつきがありますが、必要な方は、担任を通じて学校にお問い合わせください。ちょうどよいサイズの服があれば、有効に使っていただきたいと思います。

また、長袖体操服について、新しく購入される場合、高学年は、中学校の指定体操服を、先に購入して使用しても構いません。



「書き初め作品」展示会



1月7日（金）始業式の日、「書き初め大会」があります。作品は、11日（火）～13日（木）の期間中、校内に展示します。時間は、16：00～17：00です。ご覧いただく場合は、平熱であることを事前に確認の上、常時マスクを着用し、スリッパご持参でお越しください。

3学期の行事について

3学期の主な行事についてお知らせします。

1月21日（金）の授業参観は、今のところ、お知らせした日程で実施する予定ですが、校内では3密防止にご協力をいただきますようお願いいたします。また、2月22日（火）「6年生を送る会」、3月17日（木）「卒業式」を予定しています。

上記のうち、「6年生を送る会」につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、予定通り開催できた場合でも、保護者の参加はご遠慮いただきますが、1階の多目的ホールにおいて間接的にご覧いただけるよう、ライブ配信を検討中です。

また、「卒業式」における卒業生保護者の参加数については、今のところ、一家族につき2名までを予定していますが、状況によって変更が生じる可能性があります。児童の安全を優先した計画に基づき、実施することにつきまして、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。